

# 2022年12月期 決算補足説明資料



日華化学株式会社  
NICCA CHEMICAL CO.,LTD.

(東証プライム：4463)

2023年2月10日

1

サマリー

(新基準による対前年同期比)

## 1 全社：増収・増益

(当期純利益※を除く)

売上高：50,627百万円 (+8.6%)、営業利益：2,628百万円 (+10.6%)

経常利益：3,132百万円 (+15.7%) 当期純利益※：2,114百万円 (△18.5%)

## 2 化学品事業：増収・大幅な増益

※親会社株主に帰属する当期純利益

売上高：36,268百万円 (+11.0%)、セグメント利益：1,861百万円 (+28.9%)

【売上高】 (+) 注力分野<sup>1</sup>・EHD<sup>2</sup>関連製品の販売が拡大+円安による外貨建売上増幅<sup>1</sup>注力領域：化学品/EHD<sup>2</sup>領域

日本：減収から増収へ

<sup>2</sup>EHD：Environment、Health、Digital

(-) 4Q需要の落ち込みの影響 (海外繊維化学品分野)

【利益】 (+) 円安進行による利益増

(-) 原材料高 (対策) 販売拡大や価格改定

為替：期中平均(円/米ドル)130.77円 19.0%円安、中国元14.0%円安、ウォン5.8%円安

国産ナフサ：1Q/64,600円(前年同期比+66%)、2Q/86,100円(同+81%)

3Q/81,400円(同+52%)、4Q/72,500円(同+19.4%)

## 3 化粧品事業：売上高前年並み・減益

売上高：13,265百万円 (△0.4%)、セグメント利益：2,438百万円 (△10.8%)

【売上高】 (+) デミコスメティクス他が堅調に推移

(-) 前上期一時的な大口受注案件 (山田製薬ODM事業)

(-) 手指消毒剤の大幅減

【利益】 (-) 山田製薬の減収

(-) 原料・資材高騰 (対策) コストダウン等

## 4 当期純利益：減益

親会社株主に帰属する当期純利益※ (△18.5%)

【要因：利益】 (-) 特別利益：6.6億円減

※親会社株主に帰属する当期純利益

2

## 決算概要 (全社)

# 決算概要（全社）

## 増収・増益 増配

（当期純利益※を除く）

### ポイント

単位：百万円	2021年12月期	2021年12月期	2022年12月期	前期比	前期比
	旧基準	新基準 <sup>2</sup>	新基準	増減額	増減率
売上高	48,474	46,606	50,627	+4,020	+8.6%
営業利益	2,453	2,377	2,628	+251	+10.6%
（営業利益率）	（5.1%）	（5.1%）	（5.2%）		
経常利益	2,706	2,706	3,132	+426	+15.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,595	2,595	2,114	△481	△18.5%
ROA		4.4%	4.8%		+0.3p
ROE		11.3%	8.0%		△3.3p
EBITDA		4,877	5,046	+169	
減価償却費		2,500	2,417	△82	
自己資本比率		45.9%	49.8%		+3.9p
<b>年間配当（円）<sup>1</sup></b>		<b>22</b>	<b>30</b>		

#### 【売上高：増加】

- （+）原材料高騰（対策）販売拡大や価格改定
- （+）円安

#### 【当期純利益：減少】

- （-）固定資産売却益（前期）の影響

#### 【ROA（営業利益）とEBITDA：増加】

- （+）営業利益の増加による

#### 【ROE：減少】

- （前期）香港日華化学固定資産の売却益等により  
当期純利益が増加

#### 【特別利益】

- （前期）816百万円：香港日華化学 固定資産売却益等
- （当期）147百万円（増減額△669百万円）：補助金等

#### 【特別損失】

- （前期）61百万円：日華化学投資有価証券評価損等
- （当期）11百万円（増減額△50百万円）

為替：期中平均(円/米ドル)130.77円 19.0%円安、中国元14.0%円安、ウォン5.8%円安  
 国産ナフサ：1Q/64,600円(前年同期比+66%)、2Q/86,100円(同+81%)  
 3Q/81,400円(同+52%)、4Q/72,500円(同+19.4%)

<sup>1</sup> 期末配当19円については3月28日開催の株主総会で決議予定

<sup>2</sup> 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用

上記の2021年度（新基準）における各数値については、前期との比較のために当該会計基準等を簡便的に適用した後の数値。

# 連結キャッシュフロー

営業CF： +23億円	EBITDA 50億円、運転資金減少25億円、法人税等支払△11億円 半減要因：在庫増21億円 →不安定なサプライチェーンのリスク回避 →鯖江工場改修に備えて
投資CF： △8億円	固定資産取得による支出13億円、定期預金払戻し5億円
財務CF： △19億円	借入金返済13億円、配当金支払3.9億円

単位：百万円

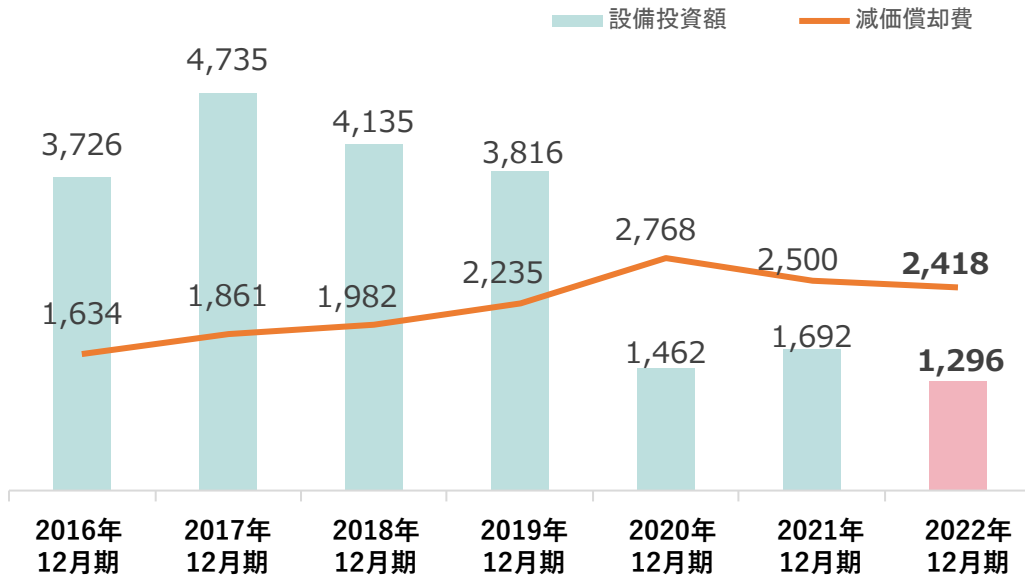
連結CF	前連結会計年度 2021年1月1日～ 2021年12月31日	当連結会計年度 2022年1月1日～ 2022年9月30日	増減額	
営業CF	4,722	2,317	△2,404	EBITDA： 5,046百万円 運転資金の増減： △2,506百万円 法人税等の支払： △1,129百万円 その他： 609百万円
投資CF	△994	△885	+108	有形固定資産取得： △1,347百万円 定期預金増減： 588百万円 その他： △126百万円
財務CF	△5,024	△1,962	+3,061	借入金返済： △1,362百万円 配当金支払： △394百万円 その他： △206百万円
期末現預金残高	7,659	7,052	△607	
有利子負債	11,700	10,338		

# 設備投資・減価償却費・有利子負債残高 推移

設備投資：前中計で大型投資を完了し、生産性向上、効率化のためのDX関連、既存設備更新等を実施  
 有利子負債残高：ピークの2019年末比で△91億円（△47%）減

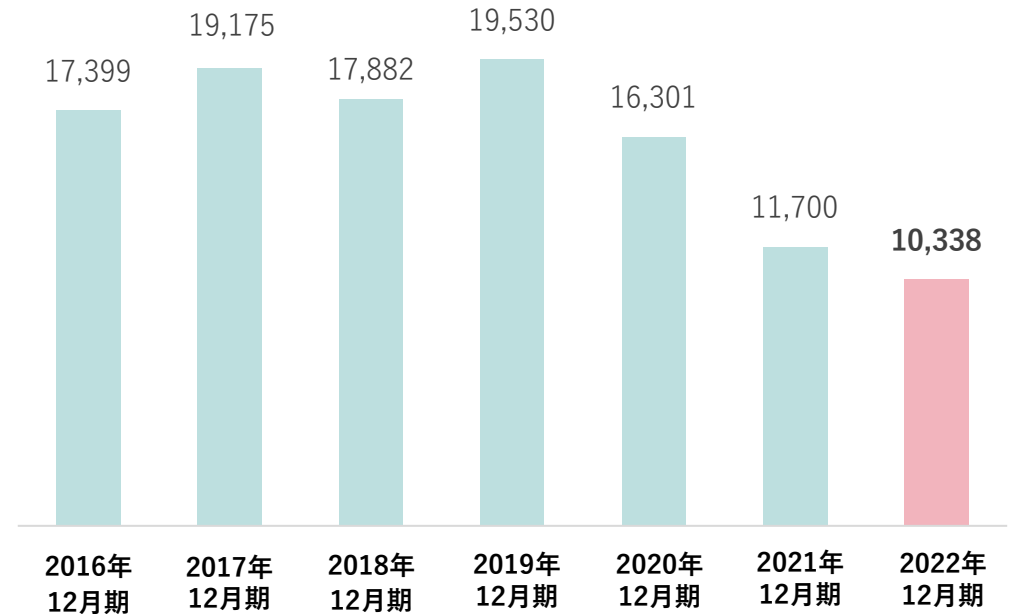
## 設備投資額 および 減価償却費

単位：百万円



## 有利子負債残高

単位：百万円



2

## 決算概要 (セグメント別)



# セグメント

## 「化学品」と「化粧品」の2つの事業領域

### 化学品事業

創業以来培った繊維加工のトータルソリューション技術を幅広い市場に応用、2015年に大智化学産業を買収し、成長著しいデジタル分野にも展開

繊維加工用薬剤



クリーニング用薬剤



スペシャリティケミカル  
(特殊化学品・機能化学品)



スペシャリティケミカル  
(先端材料)



#### 主要な関係会社

- ・大智化学産業株式会社（半導体産業向け）
- ・日華化学（中国）有限公司
- ・NICCA KOREA CO., LTD.
- 他13社

### 化粧品事業

「主力ブランド「DEMI」を中心としたプロフェッショナル向け美容室専売品 お客様の声に耳を傾け、髪健康と美しさをテーマに研究開発」

ヘアケア



スカルプケア



ヘアカラー



スタイリング



#### 主要な関係会社

- ・山田製薬株式会社（化粧品OEM/ODM）
- ・イーラル株式会社
- ・DEMI KOREA CO., LTD.
- 他4社

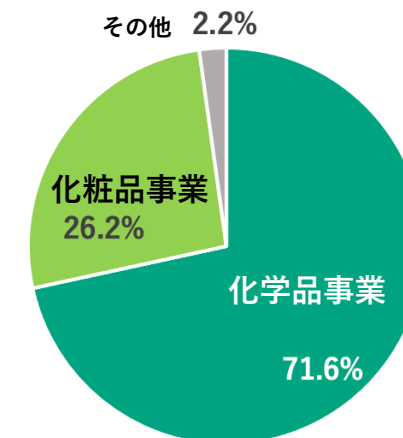
# セグメント別業績

**化学品事業**：増収増益（原材料高騰の影響←販売拡大や価格改定などでカバー+円安の影響）

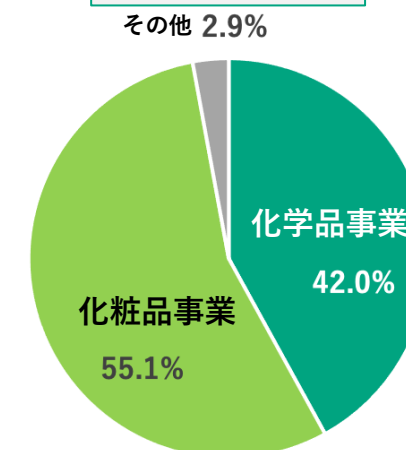
**化粧品事業**：微減収減益（前年同期に大口受託案件のブランドリニューアルによる一時的増産あり）

売上高：化学品事業が約7割  
利益：化粧品事業が約5割強

売上高



セグメント利益



単位：百万円	2021年12月期		2021年12月期		2022年12月期		前期比 増減額	前期比 増減率	
	旧基準		新基準		新基準				
売上高	化学品事業	33,773	69.7%	32,669	70.1%	36,268	71.6%	3,598	11.0%
	化粧品事業	14,087	29.1%	13,324	28.6%	13,265	26.2%	△58	△0.4%
	その他	612	1.3%	612	1.3%	1,093	2.2%	480	78.5%
	合計	48,474	100%	46,606	100%	50,627	100%	4,020	8.6%
セグメント利益	化学品事業	1,460	33.7%	1,444	34.0%	1,861	42.0%	417	28.9%
	化粧品事業	2,794	64.6%	2,734	64.3%	2,438	55.1%	△296	△10.8%
	その他	72	1.7%	72	1.7%	129	2.9%	57	79.3%
	合計（消去前）		100%		100%		100%		
	消去等	△1,874		△1,874		△1,800			
合計	2,453		2,377		2,628		251	10.6%	

# セグメント別（化学品事業）

## 増収・大幅な増益

単位：百万円

化学品事業	2021年12月期	2021年12月期	2022年12月期	前期比	前期比
	旧基準	新基準	新基準	増減額	増減率
売上高	33,773	32,669	36,268	3,598	11.0%
セグメント利益	1,460	1,444	1,861	417	28.9%

為替：期中平均(円/米ドル)130.77円 19.0%円安、  
中国元14.0%円安、ウォン5.8%円安

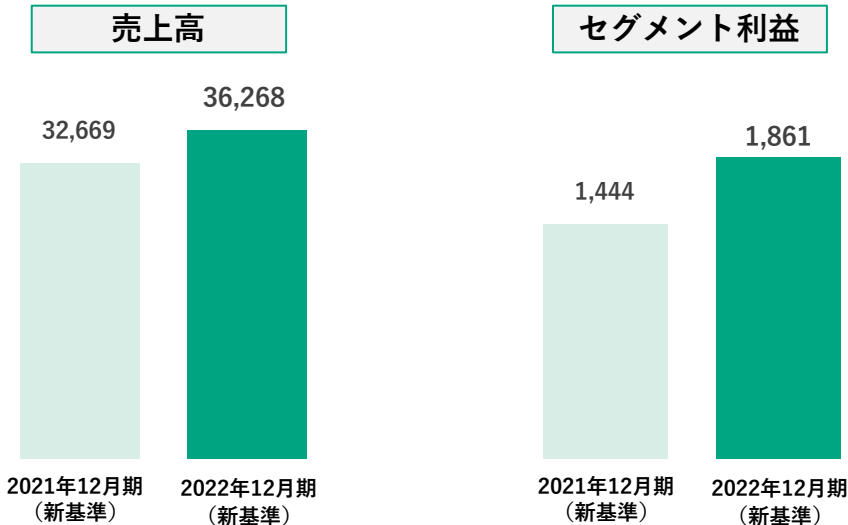
国産ナフサ（前年同期比）  
1Q/64,600円(+66%)、2Q/86,100円(+81%)  
3Q/81,400円(+52%)、4Q/72,500円(+19.4%)

### ポイント

- 【売上高】 (+) 注力分野<sup>1</sup>・EHD<sup>2</sup>関連製品の販売が拡大 + 円安による外貨建売上増幅  
日本：減収から増収へ
- (-) 4Q需要の落ち込みの影響（海外繊維化学品分野）
- 【利益】 (+) 円安進行による利益増
- (-) 原材料高（対策）販売拡大や価格改定

<sup>1</sup>注力分野：化学品/EHD<sup>2</sup>領域 <sup>2</sup>EHD  
：Environment、Health、Digital

単位：百万円



### 分野別

#### EHD<sup>2</sup> 関連

【+ 販売堅調】特殊樹脂モノマー、フッ素化成品

#### 繊維化学品分野

【+ 需要堅】中国、アセアン、南西アジア 上期堅調  
【- 需要減】欧米消費の落ち込み大（4Q）

#### 国内

【+ 回復大】リネンサプライ用薬剤

# セグメント別（化粧品事業）

## 売上高前年並み・減益

単位：百万円

化粧品事業	2021年12月期	2021年12月期	2022年12月期	前期比	前期比
	旧基準	新基準	新基準	増減額	増減率
売上高	14,087	13,324	13,265	△58	△0.4%
セグメント利益	2,794	2,734	2,438	△296	△10.8%

為替：期中平均(円/米ドル)130.77円 19.0%円安、  
中国元14.0%円安、ウォン5.8%円安

国産ナフサ（前年同期比）  
1Q/64,600円(+66%)、2Q/86,100円(+81%)  
3Q/81,400円(+52%)、4Q/72,500円(+19.4%)

### ポイント

- 【売上高】 (+) デミコスメティクス他が堅調に推移  
(-) 前上期一時的な大口受注案件（山田製薬ODM事業）  
(-) 手指消毒剤の大幅減
- 【利益】 (-) 山田製薬の減収  
(-) 原料・資材高騰（対策）コストダウン等

### 分野別

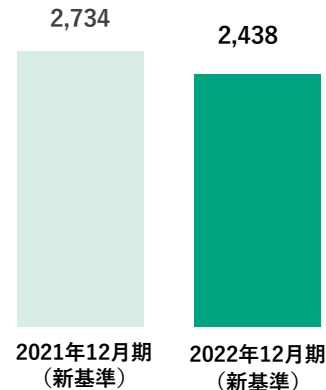
- 日華化学：堅調  
【一減少】美容室来店客（コロナの影響）  
【対策】ヘアケアブランドの拡販
- 山田製薬：減収減益  
【一売上減】前上期一時的な大口受注案件（ブランドリニューアル）  
【一売上減】手指消毒剤の大幅減
- デミコリア：増収増益  
【一減少】美容室来店客（コロナ+物価高の影響）  
【対策】ヘアケアブランドの拡販
- 原料・資材高騰の影響

単位：百万円

### 売上高



### セグメント利益



7

主なトピックス  
(2022年12月期)

# トピックス①

新発売

## デミ コスメティクス最高峰ブランド「フローディア」より エイジングケアライン

H  
健康衛生

(2022年 9月)

# DEMI



### 新たな独自技術「ミセルショット」

オイルケラチン（毛髪補修成分）を毛髪内部のすみずみまで浸透させ定着させることで、もろくなったエイジング毛の弾力を取り戻します。複雑に原因が絡み合うエイジング毛を毎日のヘアケアで扱いやすい艶髪へ

### デミ コスメティクス初

### 公式オンラインショップがオープン

「フローディア」トライアル品のみ取り扱い  
1人当たり購入可能数量を限定

お客様にサロンへ足を運んでいただくきっかけづくり



公式オンラインショップイメージ

## トピックス②

共同開発

# ポリエステルアップサイクル技術「ネオクロマト加工」を エレファンテック社と共同開発

E  
環境



- ・ 染色・プリントされたポリエステル布地から染料を簡単に取り除き、再度、染色・プリントによる意匠を付与することができる技術
- ・ 大掛かりな設備は必要なく水を使用せずに染料のみを数分間でほぼ完全に脱色
- ・ 何度でも新たなプリントデザインが楽しめる

「crQlr Awards」で審査員賞を受賞（12月）

→ファッション・テキスタイルロスゼロ、サーキュラーエコノミーへの大きな貢献が期待できる  
→現在、複数の企業と用途開発を行っており、今後もこの技術の可能性を検証していく

### crQlr Awards（サーキュラー・アワード）とは

- ・ 循環型経済の実現を目指す大規模なプロジェクトや計画中のアイデアを世界中から募集
  - ・ 直線型ではなく循環型の評価 「名声ではなく行動のためのアワード」 「グローバル視点を獲得できる」
- の3つの指標を掲げ、循環型経済の実現を目指す企業や人を応援するもの



# トピックス③

(株)ニトリとの共同開発

## 「アルナスDF」ダイニングセット(抗菌防臭・抗ウイルス加工)の展開

H  
健康衛生



- ・繊維事業分野で長年培ってきた**抗菌防臭加工技術**を応用
- ・抗菌防臭・抗ウイルス加工剤「ニッカノンRB-40」を木製部分に塗布することで、**高い抗菌・抗ウイルス効果**を確認
- ・通常塗装と変わらない**無垢集成材の風合い**を感じる**ことのできる仕上がり**を実現
- ・3月発売後**11月末より全国展開**、販売好調、ワゴンを追加発売

**抗菌  
防臭**

+

**抗  
ウイルス  
加工**

細菌の増殖を

**99%**以上低減(約)

ウイルスが

**99%**以上減少(約)

## 「Nシールド」ソファ(抗ウイルス加工、ひっかき傷・汚れ防止加工)新発売

- ・当社抗ウイルス加工技術により**高い抗ウイルス効果**を確認
- ・長年培ってきたウレタン加工・撥水加工技術により、**対摩耗性・防汚性**を実現
- ・一般的な張地と変わらない**風合い**を感じられる仕上がり



→今後も抗ウイルス加工の様々な分野への展開を検討していく

■注意

※1 未加工品と比べ、細菌の増殖を10000分の1以下に抑制。 ※2 未加工品と比べ、ウイルスの数が100分の1以下に減少。  
 ※抗菌防臭・抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。また、抗菌防臭・抗ウイルス性は全ての細菌やウイルスの働きを抑制するものではありません。  
 ※抗菌防臭・抗ウイルス性は、使用環境や表面の状態(汚れ、摩耗)により低下することがあります。



# アミノ酸由来人工核酸モノマーの工業生産プロセスを確立、 核酸医薬等の試験研究用途向けに製造・販売を開始（6月）

- ・名古屋大学大学院 浅沼教授、北海道システム・サイエンス(株)との**共同研究**
- ・核酸医薬で困難とされてきた「**安定性**」と「**安全性**」を両立
- ・当社では従来の方法から**合成効率を大幅に高めた工業生産プロセスを確立、世界で初めて販売開始**

→癌などの疾患に対する革新的医薬としての発展が期待される

→更に新たな製品ラインナップ拡充と応用製品の事業化に向けた取組みを通じ、個別化医療\*<sup>1</sup>に貢献

\*<sup>1</sup> 同じ病気の患者に対し、一律に同じ治療を行うのではなく、患者の体質や病気に関連する遺伝子を調べた結果から、一人一人に合った治療を選ぶことを特徴とする医療



## トピックス⑤

# NICCA INDIA PRIVATE LIMITED (NID) 本格始動 (4月)

- ・ 法人名 NICCA INDIA PRIVATE LIMITED
- ・ 所在地 インド共和国マハーラーシュトラ州都 ムンバイ
- ・ 資本金 72百万ルピー (約1億2千3百万円)
- ・ 設 立 2020年9月
- ・ 代表者 社長：Mr.Amol Yeola、副社長：池端和彦
- ・ 従業員 5名
- ・ 主な販売品 繊維加工用界面活性剤 (綿加工用、合成繊維加工用)



# トピックス⑥

H  
健康衛生

## 化粧品製造の魅力を Z世代ユーザーがメインのSNS「TikTok」にて配信開始（11月）

- ・化粧品製造「TikTok」アカウント  
[https://www.tiktok.com/@demi\\_seizo](https://www.tiktok.com/@demi_seizo)
- ・配信内容
  - ・ヘアケア、ヘアカラーなどの製造工程
  - ・化粧品製造で働く社員の日常風景など

→モノづくりの楽しさ、化粧品を製造する魅力、面白さを伝え、  
地元で働く若者を増やしていきたい

# DEMI



3

## 中期経営計画

# 中期経営計画 (2023~2025年)

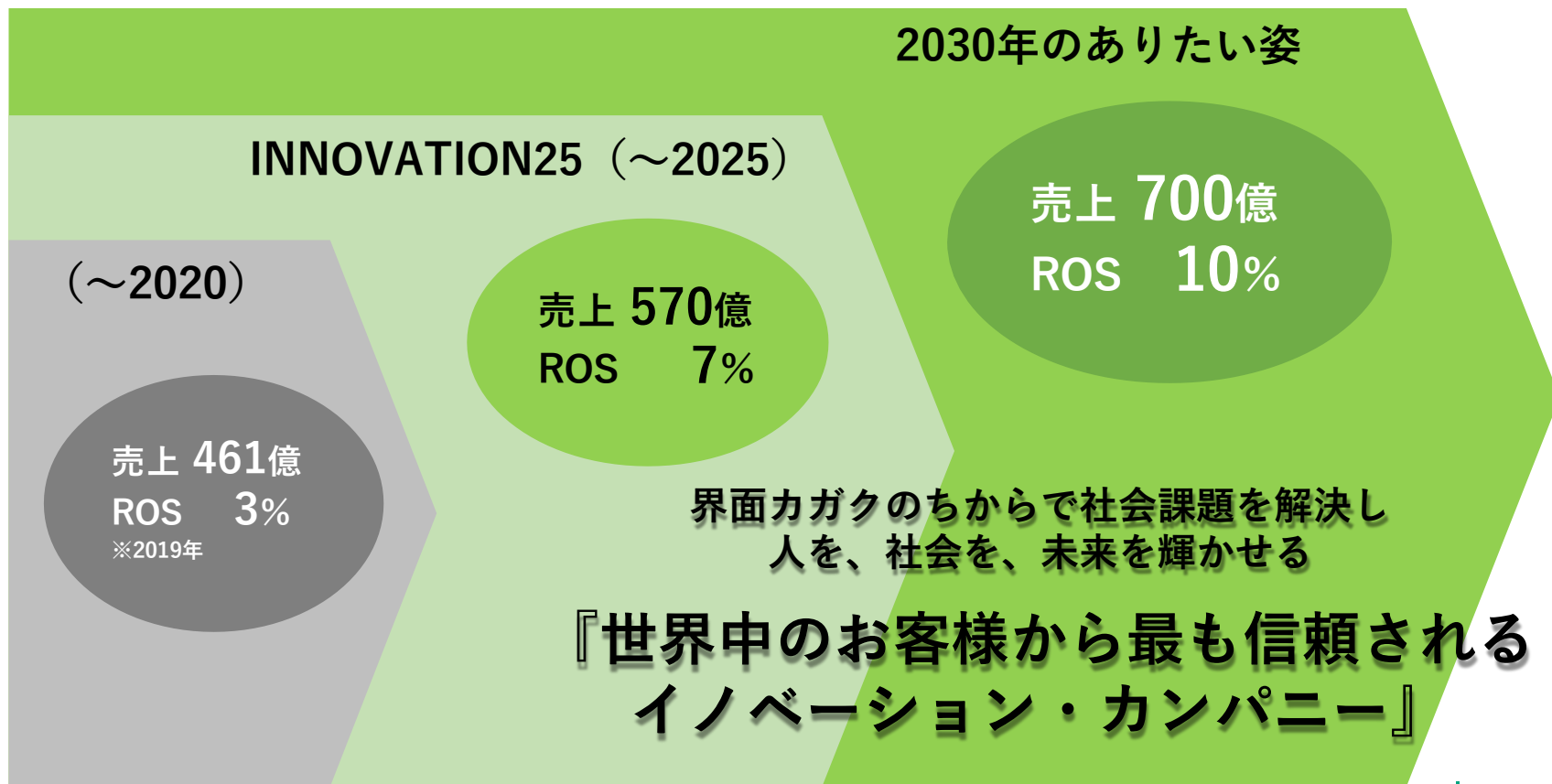
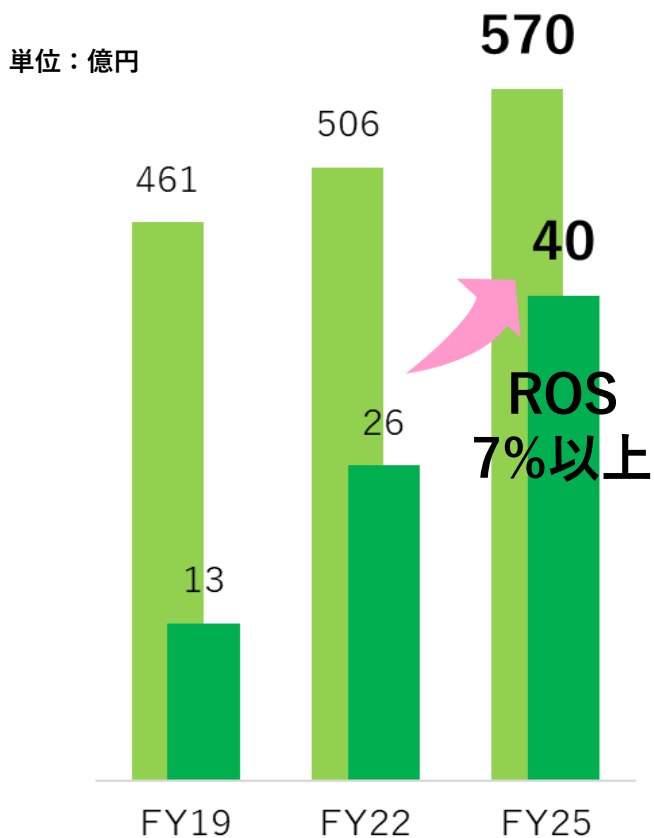
中期  
経営計画

## INNOVATION25

(2023~2025年アップデート)

『世界中のお客様から最も信頼されるイノベーション・カンパニー』へ

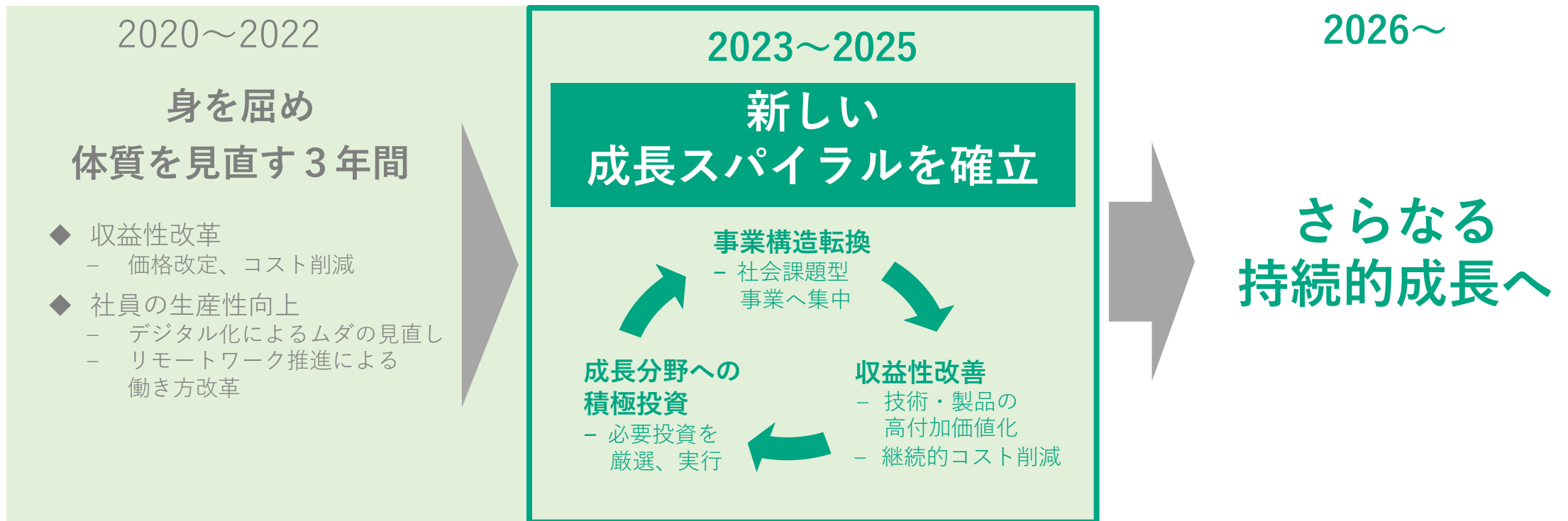
日華化学が中長期的に目指したい姿



## 3か年の成長イメージ (2023~2025年)

「事業構造の転換」「収益性改善」「成長分野への積極投資」を推進  
“新しい成長スパイラル”を固める3か年とする

現中期経営計画 (2021-2025) 「INNOVATION25」



## 中期経営計画（2023～2025年）

5大戦略は大きく変更せず、「事業構造の大転換」「メリハリのある投資」「生産性向上」を加速させることが数値目標達成の鍵

# INNOVATION25 「5大戦略」

戦略1

事業構造の大転換

EHD事業へのシフト

戦略2

メリハリのある投資

注力事業への安定投資、投下資本収益性向上

戦略3

生産性改革

デジタルトランスフォーメーションの積極推進

戦略4

サステナブル経営の推進

持続可能な社会への貢献

戦略5

大家族主義の進化

社員エンゲージメント向上とダイバーシティの推進

# 経営目標数値（2025年度）

## 収益性の向上と成長市場への積極投資をバランス良く実行

	2022年実績 <sup>※1,2,3</sup>			2025年計画			
	全社	化学品	化粧品	全社	化学品	化粧品	
① 売上高	506億円	373億円	132億円	570億円	400億円	170億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>全社で世界のGDP成長予測を上回る成長を目指す</li> <li>化学品は「売上（規模）」よりも「利益（質）」での成長を重視</li> </ul>
CAGR <sup>※4</sup>	3.1%	2.4%	5.2%	4.0%	2.3%	8.6%	
② 営業利益	26億円	9億円	17億円	40億円	20億円	20億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>中長期目標として2030年全社ROSを10%以上へ</li> <li>化学品は高付加価値事業シフトで収益性を改善</li> <li>化粧品は成長のための積極投資で一旦ROS低下</li> </ul>
ROS	5.2%	2.4%	12.9%	7.0%	5.0%	11.8%	
③ ROE <sup>※5</sup>	6.4% (8.0%)	—	—	8.0%	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>中長期目標として2030年ROE10%を目指す</li> </ul>
④ ROIC <sup>※6</sup>	4.6%	2.0%	15.3%	7.0%	5.0%	12.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>WACCを安定的に大きく上回るレベルを目標とする</li> </ul>
想定条件 為替/ナフサ	132円/USD（2022年12月末） 72,500円/KL（2022年4Q平均）			132円/USD 72,500円/KL			<ul style="list-style-type: none"> <li>2022年12月末の為替、2022年4Q平均のナフサ価格を計画の前提とした</li> </ul>

※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を2022年12月期から適用しております。

※「化学品セグメント」にその他セグメントを含めて表記しております。

※「消去及び全社セグメント」は化学品・化粧品の各セグメントに配賦して表記しております。

※CAGRは3年間の売上高平均成長を示しております。

※ROEは為替差損益や特別損失損益など特別な要因を除くため分子を営業利益ベースに引き直して試算しております。

※ROICは運転資金及び固定資産等の情報を元に当社にて試算しております。



7

**業績・配当予想他  
(2023年12月期)**

# 業績予想（2023年12月期） 全社

(予想)  
**増収・増益** (営業利益)  
**増配**

単位：百万円	2022年12月期 実績	2023年12月期 予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	50,627	52,000	+1,372	+2.7%
営業利益 (営業利益率)	2,628 5.2%	2,700 5.2%	+72	+;2.7
経常利益	3,132	2,800	△333	△10.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,114	1,700	△414	△19.6
年間配当(円)	30	中間：16円 期末：16円 32	2	—

• 為替／132円（円／米ドル、2022年12月期末値） ナフサ／72,500円 設備投資予定額(2023/12期)：2,300百万円

# 業績予想（2023年12月期）セグメント別

（予想）

化学品事業：増収・増益  
化粧品事業：増益・利益横ばい

単位：百万円

セグメント	2022年12月期 実績		2023年12月期 予想		前期比		前期比	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	増減率	セグメント利益	増減率
化学品事業	36,268	1,861	37,000	2,000	+731	+2.0%	+138	+7.5%
化粧品事業	13,265	2,438	14,000	2,400	+734	+5.5%	△ 38	△ 1.6%
その他	1,093	129	1,000	100	△ 93	△ 8.6%	△ 29	△ 23.0%
消去等	-	△ 1,800	-	△ 1,800	-	-	-	-
合計	50,627	2,628	52,000	2,700	+1,372	+10.3%	+72	+2.7%

## 施策 (2023年12月期)

### 施策

(2023年12月期)

## メリハリのある投資と高利益率の化粧品への注力

#### 化学品事業

- ・ 利益率のアップ
  - 高利益率のEHD領域製品の販売比率を高める (= EHDシフト)
  - 業務の効率化 (営業・研究・生産・バックオフィス等全職種)
- ・ 海外でのEHD製品の拡販
- ・ 値上げ効果による増収 (年間フルに寄与)

#### 化粧品事業

- ・ 大型新ブランドのローンチ「DEMI DO (デミドゥ)」 (4月)
- ・ 基幹ヘアカーブランドのフルリニューアル「トイロクシオン」 (6月)
- ・ 広告メディアへの露出、SNSなどを活用したデジタルプロモーションの強化

7

## 直近の トピックス

# 直近のトピックス

デミ コスメティクス

新ブランド

「DEMI DO(デミ ドゥ)」誕生！

E  
環境

- ・ひとりひとりの頭皮と髪のパフォーマンスを最大限に引き出すスカルプケアブランド
- ・毛髪科学技術への自信、スカルプケア概念を払拭するべく、初めての「デミ」ブランド名
- ・2023/4/12 全国取り扱いサロンにて新発売



一生、  
この髪とあそぼう。  
SMART SCALP CARE

DEMI DO

# 直近のトピックス

E

環境

2023年6月発売予定

## 「トイロクション」

十人十色、自分のカラーで。  
**TOIROCTION**  
ASSORT ALLIA



「トイロクション」商品イメージ

ヘアカラー総ブランド「アソートアリアC」が  
ブランド名も新たにフルリニューアル。  
十人十色、男女、年齢、ライフスタイル問わず、  
いつでもなりたい自分にキマる。

全104アイテム発売予定。

## デミ コスメティクス

プラスチック量を約**55%**削減したカラー剤用小型キャップを採用


- ・SDGsの取り組みの一環として、2023年6月発売予定のリニューアルヘアカラーブランド「トイロクション」のカラー剤キャップに新形状のキャップを採用
- ・旧ヘアカラー剤と比較し、**約55%のプラスチック量を削減見込み**



輝け、カガクで。

# Activate Your Life

## お問い合わせ先

 日華化学株式会社 IR担当

TEL:(0776)25-8584(直通)

Email : [matsushima@niccachemical.com](mailto:matsushima@niccachemical.com)

この資料には、2023年2月10日現在の将来に対する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。  
経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。















# Appendix

# 2022年12月期 経営環境（結果）

## 事業分野外部環境等

（新型コロナウイルス感染症の影響含む）

2022年12月期（結果）

繊維加工	日本		消費動向の一部回復、円安による生産の国内回帰などもありスポーツアウター系は堅調もファッション系は依然厳しい状況。衛生材料・産業資材分野は堅調
	海外		欧米アパレル向けオーダーが堅調に推移していたが、3Q以降欧米のインフレによるアパレル買い控え、在庫過多の影響により好調だった生産拠点の東アジア、アセアン、西南アジアで大きく減速
自動車	日本・海外		販売 1-12月前年同期比/日本(軽含)△4.7% (△19.1万台)、中国+9.7% (+208.2万台)、米国(小型トラック含)△8.3% (△124.3万台) で4Qだけでは日本は13%増、中国は1%減、米国は9%増
製紙	日本		新聞用紙・印刷情報用紙は需要減継続、家庭紙・衛生紙は横ばい、板紙はEC需要もあり堅調継続 資材高騰を受けメーカー各社が継続的な値上げ実施中
クリーニング	日本		ホームクリーニングは回復鈍いがリネンサプライは回復基調。4Qは国内外旅行者増により回復傾向が鮮明で宿泊者数は前年同期比5割増。
半導体ウエハ	日本		22年度ウエハ出荷面積は過去最高出荷面積を更新する見込みも、パソコン・スマホの出荷が弱含みであり生産調整が始まっている
生活・環境 衛生関連	日本		抗菌・抗ウイルス剤、手指消毒剤/前年の需要に比して落ち着きを見せた 医療用洗浄剤/病院外来・入院患者数は前年同期比で大きな変化なし
ヘアケア化粧品	日本		コロナ禍により来店サイクルが長期化し来店客数は依然BC水準には戻らず、4Qはさらに減少 客単価上昇で補うも国内美容サロン市場は停滞。ODM需要は想定以下の状況が続いた
	海外		韓国/上期はコロナ禍による影響で美容室の来店客数がダウンし、下期はコロナ禍からは回復するも物価急上昇の煽りを受け消費マインドの低下により来店頻度減少が続いた
数値指標 (前年比)	為替		期中平均 円/米ドル・130.77円で19.0%円安、中国元14.0%円安、ウォン5.8%円安
	国産ナフサ	-	1Q/64,600円(前年同期比+66%)、2Q/86,100円(前年同期比+81%) 3Q/81,400円(前年同期比+52%)、4Q/72,500円(前年同期比+19.4%)

# 財務データ等推移

項目	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022
売上高	37,736	39,931	46,527	44,223	48,493	50,188	46,191	41,179	46,607	50,627
EBITDA のれん償却額反映	4,606	4,697	4,696	3,174	4,056	4,292	3,635	4,187	4,877	5,046
(EBITDA率)	12.6%	11.6%	9.9%	7.2%	8.2%	8.5%	7.9%	10.2%	10.5%	9.6%
減価償却費 のれん償却額含む	1,584	1,832	2,332	1,716	1,940	1,991	2,240	2,771	2,500	2,417
営業利益	3,022	2,865	2,364	1,458	2,116	2,301	1,395	1,416	2,377	2,628
(営業利益率)	8.0%	7.2%	5.1%	3.3%	4.4%	4.6%	3.0%	3.4%	5.1%	5.2%
経常利益	3,390	3,073	2,443	1,588	2,171	2,430	1,334	1,645	2,707	3,132
親会社株式に帰属する当期純利益	2,678	1,447	1,152	347	1,388	2,458	900	1,044	2,596	2,114
1株当り当期純利益 (円)	152.20	82.22	70.13	22.09	88.48	156.68	57.33	66.40	164.82	134.08
配当金 (円)	16	16	20	20	16	18	16	10	22	30
自己資本比率	40.1%	45.2%	36.4%	33.3%	34.4%	35.6%	36.7%	39.5%	45.9%	49.8%
ROE	18.8%	8.2%	6.2%	2.0%	7.8%	12.6%	4.5%	5.1%	11.3%	8.0%
ROA	7.6%	6.9%	5.2%	2.9%	4.0%	4.1%	2.5%	2.6%	4.4%	4.8%
研究開発費	1,659	1,786	2,096	2,035	2,065	2,219	2,289	2,019	2,166	2,250
従業員数 (人)	1,182	1,228	1,373	1,418	1,472	1,479	1,496	1,500	1,454	1,472

※ 2022年12月期年間配当金のうち期末配当19円については2023年3月28日開催の定時株主総会で決議予定

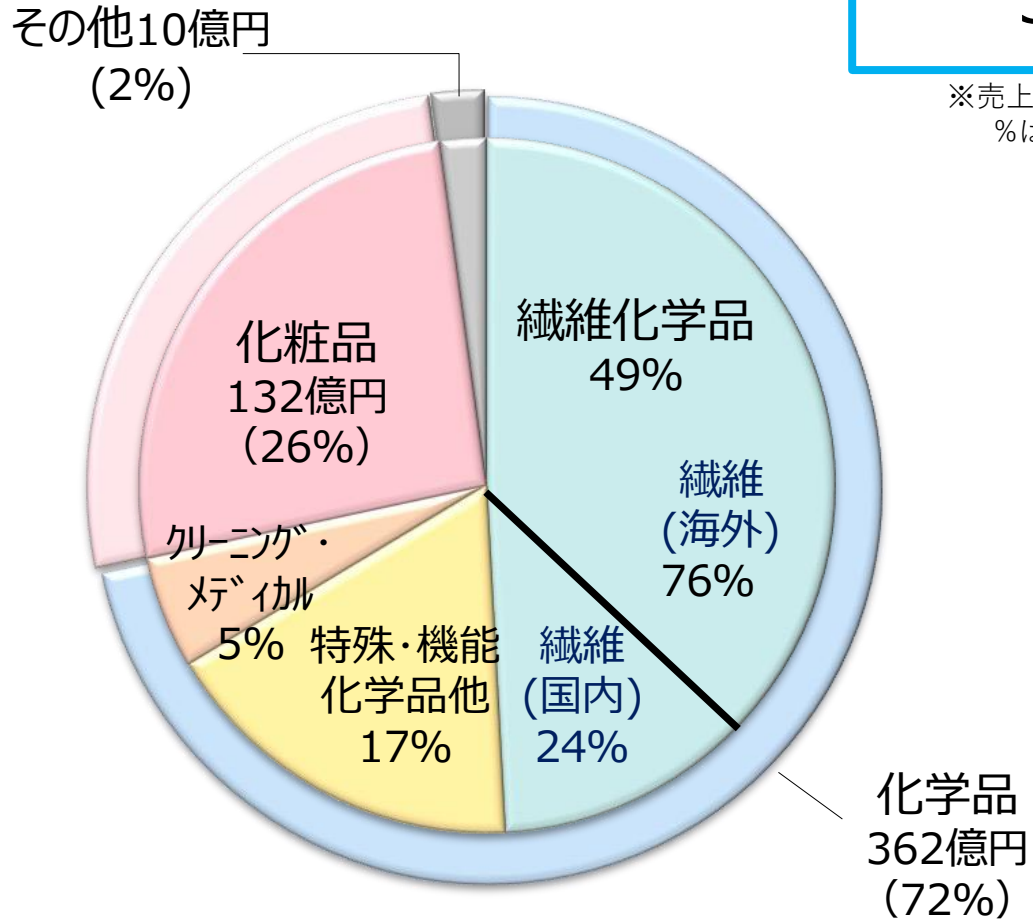
※  は「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準 第29号)等適用によりそれ以前とは基準が異なる項目

# 事業所・所在地別 売上高比率

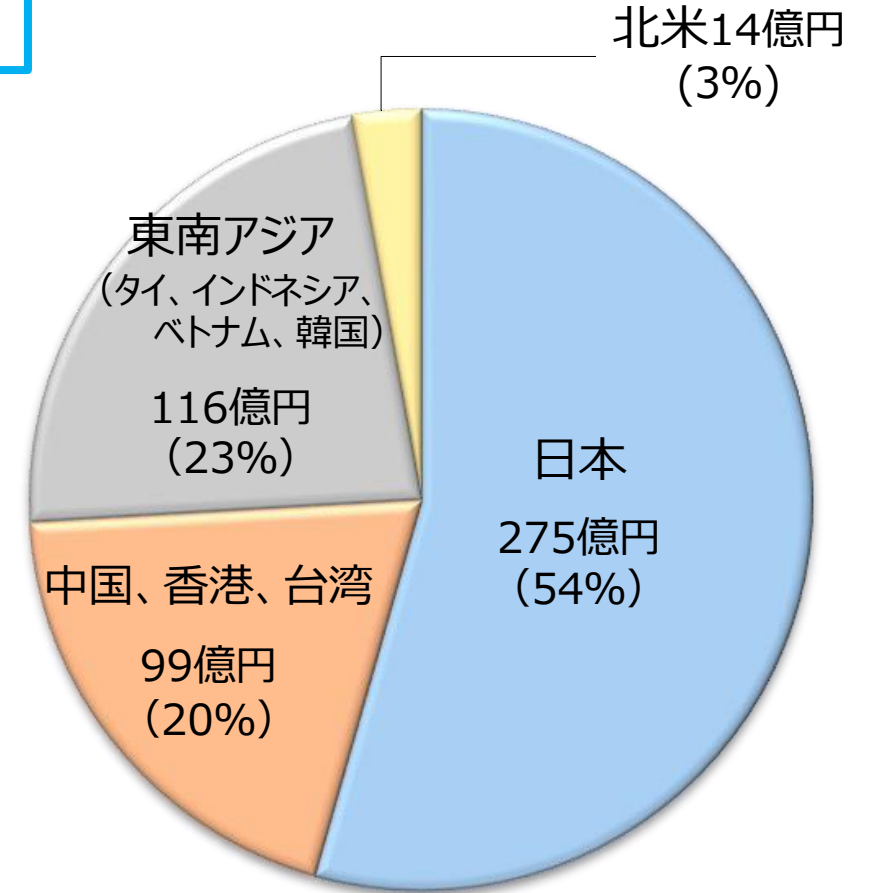
2022年度 売上高  
506億円

※売上高は億円未満四捨五入  
%は小数点以下四捨五入

【事業別売上高比率】



【所在地別売上高比率】




商号	日華化学株式会社（証券コード 4463）
本社	福井県福井市文京4丁目23-1 1941
創立	（昭和16）年9月15日
資本金	28億9,854万円
発行済株式数	1,771万株
決算期	12月31日
従業員数	連結／1,472名 単体／593名（2022年12月31日現在）
事業内容	繊維を主とする各種産業用界面活性剤および化学品、化粧品等の製造・販売
上場証券取引所	東証プライム、名証プレミア

輝け、カガクで。

# Activate Your Life

## お問い合わせ先

 日華化学株式会社 IR担当

TEL:(0776)25-8584(直通)

Email : [matsushima@niccachemical.com](mailto:matsushima@niccachemical.com)

この資料には、2023年2月10日現在の将来に対する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。  
経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。